

授業科目名	授業形態	単位数	担当教員名
臨床心理学	講義	2	藤井裕子
記載不要			
<p>【授業のテーマ及び到達目標】</p> <p>テーマ:保育や教育の場における臨床心理学の活用</p> <p>到達目標: 1、臨床心理学の基礎的知識を習得し、教育現場で応用できる。</p> <p>2、乳幼児期から青年期の各時期における精神活動の発達過程と心理的特性について説明できる。</p> <p>3、各時期の子どもの心の問題について理解し、かかわりや援助について工夫できる。</p> <p>4、園、学校、家庭や地域との連携のもとに、子どもと保護者の心理的支援について実践できる。</p>			
<p>【授業の概要】社会の構造的変化を視野に入れて保育や学校教育の場における幼児期から青年期までの心理的特性や発達過程を理解し、適切な心理的支援を考えることは重要なことである。本講義では臨床心理学の基本的知識を習得した上で心理面から教育に関わる問題について学ぶ。個別の教育的支援を必要とする幼児・児童・生徒への理解を深め実際の関わりについて適切な援助について実践力を学ぶ。臨床心理学の基本理論の習得と実践力を体系的に学べるように講義を進める。</p>			
<p>【全体の授業計画・内容】</p>			
<p>1、 オリエンテーション</p> <p>臨床心理学の意義、目的、方法</p> <p>【事前学習】配布資料を読みノートにまとめる(0.5 時間)</p> <p>【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5 時間)</p>			
<p>2、 臨床心理学の基礎知識（1）感覚・知覚</p> <p>【事前学習】知覚の意義、錯視について配布資料を読みまとめる(0.5 時間)</p> <p>【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5 時間)</p>			
<p>3、 臨床心理学の基礎知識（2）認知・思考</p> <p>【事前学習】認知・思考の意義と機能について配布資料を読みまとめる(0.5 時間)</p> <p>【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5 時間)</p>			
<p>4、 臨床心理学の基礎知識（3）学習・動機づけ・記憶</p> <p>【事前学習】学習や動機づけについて配布資料を読みまとめる(0.5 時間)</p> <p>【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5 時間)</p>			
<p>5、 臨床心理学の基礎知識（4）感情・性格・人格の形成</p> <p>【事前学習】人格形成について配布資料を読みまとめる(0.5 時間)</p> <p>【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5 時間)</p>			
<p>6、 精神発達の理論（1）年代別の発達特性：乳幼児期、学童期</p> <p>【事前学習】発達理論について配布資料を読みまとめる(0.5 時間)</p> <p>【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5 時間)</p>			
<p>7、 精神発達の理論（2）年代別の発達特性：思春期・青年期</p> <p>【事前学習】発達理論について配布資料を読みまとめる(0.5 時間)</p> <p>【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5 時間)</p>			
<p>8、 代表的な臨床心理学の理論、精神分析、心理療法、認知行動療法</p>			

<p>【事前学習】心理療法に関する配布資料を読みまとめる(0.5 時間)</p> <p>【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5 時間)</p>
<p>9、 パーソナリティの理解 (1) 防衛機制、適応と不適応</p> <p>【事前学習】配布資料を読み概要をまとめる(0.5 時間)</p> <p>【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5 時間)</p>
<p>10、パーソナリティの理解 (2) 心理検査の活用と解釈</p> <p>【事前学習】心理検査の種類や活用についてまとめる(0.5 時間)</p> <p>【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5 時間)</p>
<p>11、特別な配慮の必要な子ども理解と心理的支援</p> <p>【事前学習】配布資料を読み概要をまとめる(0.5 時間)</p> <p>【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5 時間)</p>
<p>12、問題行動への理解と心理的支援</p> <p>【事前学習】配布資料を読み概要をまとめる(0.5 時間)</p> <p>【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5 時間)</p>
<p>13、ひきこもりへの理解と心理的支援</p> <p>【事前学習】配布資料を読み概要をまとめる(0.5 時間)</p> <p>【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5 時間)</p>
<p>14. 心の問題について脳科学からの知見を学ぶ</p> <p>【事前学習】配布資料を読み概要をまとめる(0.5 時間)</p> <p>【事後学習】学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5 時間)</p>
<p>15、筆記試験およびまとめ</p> <p>【事前学習】資料の点検を行い不備や疑問点をまとめる(0.5 時間)</p> <p>【事後学習】全体をふりかえって総合的に学習した内容を各自のノートにまとめる(0.5 時間)</p>
<p>【学習のあり方】</p> <p>事前学習として配布プリントを読みまとめておく。(0.5 時間)</p> <p>事後学習として講義で学んだことと自分の考察をノートにまとめる(0.5 時間)</p>
<p>【成績評価】定期試験: 講義最終回に筆記試験 (50%)</p> <p>平常試験: 筆記試験およびレポート (50%)</p>
<p>【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】毎回リアクションペーパーを用い学習状況を確認し、次回の講義で解説を行い質疑応答に対応する。</p> <p>提出されたレポートはコメントをつけて返却する。</p>
<p>【テキスト】</p> <p>特に指定しないがプリント配布する。</p>
<p>【参考文献】</p> <p>森谷寛之ほか編著「はじめての臨床心理学」北樹出版</p> <p>伊藤良子「臨床心理学」ミネルヴァ書房</p>
<p>【実務経験の有無】</p> <p>教育委員会のスクールカウンセラーおよびスーパーバイザーとして勤務、東日本大震災等における緊急支援教育活動、教員や保育者研修の講師、地域住民委員会主催による心の健康について研修講師</p>